

<b>2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 2 月期</b> <b>生活機構研究科 人間教育学専攻 修士課程</b> <b>(一般入試)</b>	氏名							
専門科目 問題用紙 (1 / 1)	座席番号 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">採点</td> </tr> </table>							採点
						採点		

以下の2問のうち、1問を選択し、解答しなさい。(800字以内)

A) 中央教育審議会教育課程企画特別部会は、令和7年9月25日付けで「論点整理」を公表した。この中で、情報活用能力の抜本的向上に向けた内容面の充実の方向性として、「どのように情報技術の活用の実態を高めていくか(主に①活用)」、「内容として不足している部分をどう充実するか(主に②適切な取扱い、③特性の理解)」という観点で総合的に整理することが重要であると指摘している。このことを踏まえ、情報活用能力の向上のために小学校においてどのような学習活動を取り入れることが望ましいと考えられるか。上述した、①活用、②適切な取扱い、③特性の理解の3つの観点で具体的に述べなさい。

B) エビデンスに基づく教育(Evidence-Based Education)が近年重視されている背景を説明したうえで、その推進に対して教育現場から生じる反発や課題を論じなさい。その際、量的データと質的データの違いに触れ、両者をどのように組み合わせることが望ましいと考えられるかについて具体的に述べなさい。





<b>2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 2 月期</b> <b>生活機構研究科 人間教育学専攻 修士課程</b> <b>(一般入試)</b>	氏名					
英語 問題用紙 (2/2)	座席番号					採点

著作権上の理由から 5 行省略

出典：Pinter, A. (2017). *Teaching Young Language Learners (second edition)*. Oxford University Press, pp.45-46.

- (1) 下線部(a) の文章を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部(b)の文章を日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部(c)に関連して、動機づけを促す指導には主に 4 つの要素または段階があると提唱されている。それらについて具体的に日本語で答えなさい。
- (4) 最終段落を日本語で要約しなさい。

